

【質問・意見に関する市の考え方】

NO	ページ	事業番号	担当課	質問・意見内容	市の考え方
1	P62・P63	22・23	人権・男女参画室	男性対象の事業がやはり参加が伸び悩んでいるように見えます。地域の方々、とくに男性対象の事業の実施日時についてはどんな工夫をされていますか？平日日中ですと、参加できる方々の年齢や立場が限られてくるように思います。参加者の年齢はどうでしょうか？若い仕事や子育てでフル回転の世代にはなかなか届かないかと思いました。 一方エンゼルハウスでの親学級というのは、多くの参加者を集めておられるようで、効果をあげているのではないかと思います。	令和5年度は、定年退職後の男性を対象に6月3日土曜日に開催しました。内容は、定年前後の男性が仕事中心の生き方を振り返り、家庭や地域に参画するきっかけづくりとして、学習や交流機会の充実を図る。というものです。 参加者の年齢は50代が4人、60代が6人、70代が1人でした。今年度は、子育て中の男性、子育てに関わる男性を対象に地元和泉でパパ同士が子育て仲間として活動していけるようなきっかけづくりとして、座談会を実施する予定です。
2	P81	39	人権・男女参画室	審議会委員については女性委員のいない審議会がまだ2件あるということであるが、どの委員会で、どんな事情があるのか？	令和5年度女性委員のいない審議会については1件の誤りで、人事課所管の「議会議員その他非常勤の職員の公務災害補償等認定委員会」です。この委員会は、大阪府の各市町村の議員や非常勤職員の公務災害について認定を行っています。委員選定は大阪府で行い、各市町村共同で委員委嘱を行っています。女性委員の登用については、お願いしているとのことです。
3	P89	48	人権・男女参画室	アドバイザー養成は予定以上に実績をあげておられます。アドバイザーとして養成された方々はその後どのように活躍されていますか？	団体を設立し、男女共同参画に関する事業等を実施しています。
4	P118	76	人権・男女参画室	事業者、企業へのアプローチはなかなか難しそうですが重要な課題です。企業のモチベーションを高める方策が必要かと思います。	事業者が男女共同参画を推進するための研修会等を実施する場合に講師を無料で派遣する「和泉市男女共同参画推進講師派遣事業」を実施しています。今年は、商工会議所等と連携し、「いずみ会議所だより」やくらしサポート課とも連携し「企業人権協議会ニュース」に講師派遣事業について掲載し周知を図ります。
5	P127	84	子育て支援室	ひとり親、高齢者、その他支援の必要な市民の相談等は充実しておられます。解決の難しいことが多いようでもあり、今後の課題もありそうです。	今後の課題は、支援体制の充実を図るため自立支援員（相談員）の増員が必要と考えています。
6	P141	99	人権・男女参画室	女性に対する暴力をなくすキャンペーンや人権啓発等の参加が少ないように見えます。工夫が必要かもしれません。 学校での取り組みは頑張っておられるように見受けました。これは将来にむけて非常に効果的ではないかと思います。	令和4年度・令和5年度ともに桃山学院大学と連携し、学生、教職員及び一般市民を対象にデートDVについての講座を実施しました。今年度は、大学生だけでなく小学生も対象にして実施する予定です。
7	P147	104	危機管理課	地域防犯パトロールがかなりの頻度で実施されていますが、どんな人たちを巻き込んで実施しておられますか？	犯罪防止のため、巡回活動等を行っている青色防犯パトロール団体や和泉総合防犯センターの団体と協力しパトロールを行っています。
8	—	—	—	教育現場でのジェンダー教育に力を入れておられ、教職員、PTA等保護者も対象として啓発活動を展開しておられる点に感銘を受けました。	
9	—	—	—	・地域対象の事業においても参加率がそれなりに高く、ご担当のみなさまの尽力が伺えます。	

NO	ページ	事業番号	担当課	質問・意見内容	市の考え方
10	—	—	—	1. 市民によりわかりやすい報告書へ 「第三期オアシスプラン事業進捗状況調査報告書」「DV防止基本計画進捗状況調査報告書」はいずれも和泉市が多岐にわたる事業を実施していること、その事業内容と実施状況について網羅、一覧できる体裁となっている。こうした報告書の体裁を採用することで、市民は和泉市の事業の全体像を理解し、整理することができるという利点がある。その反面、事業の実施を通じて和泉市の男女共同参画およびDV防止において、どのような実態にあり、どのような変化がみられるのかがわからない。 たとえば、報告書に、「和泉市の男女共同参画の状況」という章を設け、核家族の割合や年齢別人口構成比、外国人人口の推移といった基本データとともに、オアシスプラン、DV防止基本計画の基本目標に関する統計やデータを紹介することはできないか。統計の実施年度の制約や、関連項目に適したデータがない場合もあるが、市民は和泉市の男女共同参画の現状とその進展具合を毎年、確認でき、報告書に掲載された各種事業との対応関係を理解することができる。 具体的には、「男女平等の意識をはぐくむ」という基本目標に関連するデータとして、小中における男女平等教育の推進状況(実施率)、保育施設・小中の職員に対する男女平等啓発・研修の推進状況(実施率)、市職員に対する男女平等啓発・研修の推進状況(実施率)、小中における女性教員の管理職数等の活用が考えられる。 「男女平等の参加・参画で社会を活性化する」という基本目標に対しては、和泉市議会の女性議員の割合や立候補者数の推移、審議会等における女性の委員数と割合の推移、和泉市役所職員の性別構成や管理職の性別構成(女性活躍推進計画からのデータを利用等)、自治会・町内会での女性の割合の推移などがこれにあたる。 「自立を支えるまちづくり」においては、男女別の労働力人口、就労者数、児童の年齢別保育施設等の利用者数(当該年齢人口の利用者割合)、男女別の通勤・通学時間、高齢者人口あたりの介護施設・介護職員数の推移なども利用できるのではないかな。 これらデータは、部分的にはオアシスプラン本体に示されているとはいえ、進捗状況という点、またオアシスプランに示されている目標値への道標として意義があると考ええる。加えて、「統計いずみ」にまとめられている各種統計や各種計画、調査等を活用できるものであり、できうる限り「男女別」に掲載することで、事業の実施担当側においても、「性別」でのデータを確認することで、事業の進捗度におけるジェンダー主流化を意識するきっかけともなろう。 特にDVに関する相談については、大阪府の相談件数とともに、和泉市の相談件数の推移をデータとしてとりまとめることで、和泉市にDV窓口があることを間接的に市民が知ることにもなる。相談件数がわかりやすく可視化されることで、「安心して相談できる相談体制」の必要性が市民に理解される契機となることも考えられる。これは、子育て等、各種相談事業においての当てはまることである。今後は、計画の進捗と課題を考えるうえで、相談内容を分析し、その結果を市民に公表されることも期待される。	委員のご指摘を踏まえ、次期計画の報告書については、主要事業と成果との関連も含め、和泉市の男女共同参画の進捗状況が市民によりわかりやすい内容になるよう検討します。

NO	ページ	事業番号	担当課	質問・意見内容	市の考え方
11	—	—	—	2. 男女共同参画の推進という点での事業の「進捗」とは何か 報告書には、PDCAによる事業評価が強く意識され、多岐にわたる事業について活動指標の達成度、進捗状況が記載されている。この点は報告書として積極的な評価の対象となろう。一方、これら事業が男女共同参画の達成に関連するという点を考慮すると、改めて事業における「進捗」とは何かという問題が浮上する。報告書を見る限り、この点は明瞭ではなく、事業の実施者がどのような「男女共同参画」を念頭において事業の自己評価をしているのだろうか。 そこで、男女共同参画という視点から事業評価をする場合のポイントを報告書で示し、そのポイントを踏まえた進捗状況の評価であることを明らかにする必要があると考える。たとえば、▽事業実施にあたって男女別の利用者、参加率を把握している▽女性、あるいは男女が参加、利用しやすい制度の見直し、工夫を行っている▽事業の企画や実施過程で、女性の意見を聞いた、あるいは男女から共に意見を聞いた▽事業が女性／男性に効果があった——といった基準を示すことで、事業を実施したか否か(件数、参加者)という評価だけでなく、男女共同参画という視点からの実施、評価が可能になるものと考え	委員のご指摘を踏まえ、次期計画では各章ごとに男女共同参画の進捗がわかるような重要な指標を設けるなど、事業の評価方法について再考します。
12	—	—	—	3. 男女共同参画施策担当部門の事業紹介 前記2. にからんで、和泉市の男女共同参画の中核的組織である男女共同参画室、市民活動や市民参加の拠点であるモアいずみの事業内容について、別に章を設け、紹介する必要があると考える。 第一に、報告書に掲載された事業が多岐にわたるため、男女共同参画室およびモアいずみの事業内容や、男女共同参画を基軸とする事業の方向性が報告書の中に埋もれてしまっている。その結果、男女共同参画室およびモアいずみの政策推進上の役割や重要性が見えにくくなっている。男女共同参画政策の軽視につながりかねない。 第二に、和泉市が男女共同参画推進において、これら組織をどのように位置づけているのか。予算、職員配置、事業実施の内容を明らかにすることで、和泉市の男女共同参画への姿勢を広く市民に理解してもらうことにつながる。	来年度の事業進捗状況調査報告の際に、審議会資料に追加させていただきます。また、次期計画については委員のご指摘を踏まえ、男女共同参画室およびモアいずみの事業内容を別の章とすることも含めて、計画の構成を検討します。